

# 2025 年が二度目の国際協同組合年とされたことと未来サミットへの期待

2024 年 5 月 21 日

日本協同組合連携機構（JCA）

代表理事専務 比嘉政浩

（SDGs 推進円卓会議民間構成員）

本日の SDGs 推進円卓会議は所用により欠席します。

2025 年が二度目の国際協同組合年（=IYC）と定められました。その背景等をご報告するとともに、未来サミットへの期待も本メモにてお伝えします。

## 1 国連総会での決議

2023 年 12 月 19 日の国連総会で採択された決議「社会開発における協同組合」のなかで、2025 年を IYC とすると宣言されました。

IYC は 2012 年に次いで二度目のこと、同一の国際年が二度設けられることは異例のことです。

## 2 協同組合への期待と各国政府への呼びかけ

同決議は、協同組合が持っている包摂性、貧困・飢餓解消への貢献、気候変動への対応等に触れたうえ、2030 アジェンダのなかで協同組合の役割が認識されていることを改めて紹介しています。

そのうえで、次のように述べています。

2025 年に再び「国際協同組合年」を宣言することを呼びかけるとともに、すべての加盟国、ならびに国連、その他すべての関係者が、協同組合を振興し、持続可能な開発目標の実施と社会・経済開発全体に対する協同組合の貢献に対する認知を高める方法として「国際協同組合年」を活用することを促す。

各国政府に対し、持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラムのための自発的國家レビューの準備の一環として、適宜、協同組合と協議するよう促す。

## 3 国内での対応

わが国唯一の常設の協同組合横断全国組織である JCA は、IYC2025 を歓迎し、関係者と協力して、この機会を活かしていきたいと考えています。

具体的には、協同組合の代表者に加え、協同・相互扶助を掲げる諸団体とともに IYC2025 全国実行委員会（仮称）を立ち上げ、以下の通り活動する予定です。

## (1) 同委員会の活動目標

- ① 協同組合に対する理解を促進し、認知度を高めること
- ② 協同組合の振興を図るとともに、協同の輪を広げること
- ③ 地域課題解決のため協同組合間連携や様々な組織との連携を進めること
- ④ 国際機関や海外の協同組合とのつながりを強めること

## (2) 同委員会の活動

- ① 国会・政府等への働きかけ
- ② シンポジウムの開催
- ③ 大学における協同組合論講座拡大に向けた働きかけ
- ④ 全国の協同組合に対して、協同組合のアイデンティティを「学び」「実践し」「発信する」呼びかけ

## 4 国連未来サミットに向けて

### (1) 各ステークホルダーの役割の明示を

国連未来サミットに向けて、現在「未来のための協定：ゼロドラフト」が発表されていますが、私たちは、わが国政府による「SDGs 実施指針（改定版）」がそうであるように、「未来のための協定」のなかに「各ステークホルダーの役割」を明示することが重要だと考えます。SDGs の達成、そして望ましい未来は、政府だけでなく、この円卓会議構成員やその組織など、あらゆる関係者がそれぞれの強みを活かし、また協力して取り組んでこそ引き寄せることができるものであり、「未来のための協定」において、関係者の貢献を評価し、励まし、支援を約束することには重要な意味があると思います。

そのうえで、私たち協同組合の「ゼロドラフト」各分野への貢献について、国連等の文書を参照してみました。

「ゼロドラフト」の分野	各分野での協同組合の貢献 (国連等の文書から引用)
1. 持続可能な開発と開発のための資金調達	「協同組合は、…地域コミュニティとすべての人びと…の最大限の参加を促進し、貧困と飢餓の解消に貢献する」 「協同組合はしばしば、社会的に排除された弱い立場の人びとのための活動する」 「気候変動への適応と緩和に取り組みながら、公正な移行を促進する上で力を発揮できる」 (2023年12月19日国連決議「社会開発における協同組合」 <sup>1)</sup> )

<sup>1</sup> <https://digitallibrary.un.org/record/4032275?v=pdf>

	<p>「協同組合の価値は、自助、自己責任、参加型意思決定、平等、公正、連帯、社会的責任である。協同組合の原則は、自発的で開かれた組合員制、組合員による民主的管理、組合員の経済的参加、自治と自立、教育・研修および広報、協同組合間の協同、地域社会への関与を含む。これらの価値と原則に導かれ、協同組合は持続可能な開発のあらゆる側面に貢献することができる。」</p> <p>(2023年7月17日国連事務総長報告「社会開発における協同組合」<sup>2)</sup>)</p>
2. 国際平和と安全保障	<p>「協同組合は共同の生活と共同の安全保障を促進するため、相互理解を築き、包括的な社会を築きながら紛争根絶と平和促進に貢献する強力な能力を有している。」</p> <p>(協同組合振興促進委員会 (COPAC) 「我々の世界を変革する：協同組合の 2030—SDG16 への協同組合の貢献」 2019年6月21日<sup>3)</sup>)</p>
3. 科学、技術とイノベーション、デジタル協力	<p>「デジタル格差(すべての女性と女兒、障がい者、高齢者にとってのデジタル格差を含め)の解消に向けて取り組みながら、とりわけ農村部において、協働と協同組合の拡大に不可欠な道筋として、情報通信技術へのアクセスを促進するよう各国政府に促す。」</p> <p>(前掲国連決議)</p>
4. 若者と将来世代	<p>「協同組合が人びとの力を高め、人びとが自分たちの人生とコミュニティを前向きに変革し、包括的な社会を構築できるよう、あらゆる形態の協同組合(特に貧困層、若者、女性、高齢者、先住民族、障がい者、脆弱な状況にある人たちによって運営されている協同組合)の能力を強化・構築すること、また協同組合のなかで(特にその意思決定プロセスにおいて)、女性と若者の完全かつ平等で有意義な参加を確保すること、このことを各国政府と国際機関が、協同組合および協同組合組織と連携して行うよう要請する。」</p> <p>(前掲国連決議)</p>

<sup>2</sup> <https://digitallibrary.un.org/record/4018453?ln=en&v=pdf>

<sup>3</sup> <https://www.ilo.org/publications/transforming-our-world-cooperative-2030-cooperative-contributions-sdg-16> 同文書では、ルワンダ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、グアテマラ、シリア、バングラディッシュの協同組合の事例が挙げられている。なお、協同組合振興促進委員会 (COPAC。Committee for the Promotion and Advancement of Cooperatives) は現在、国際協同組合同盟 (ICA)、国際労働機関 (ILO)、国連経済社会局 (UNDESA)、国際連合食糧農業機関 (FAO)、国際貿易センター (ITC)、国連社会開発研究所 (UNRISD) で構成されている。

5. グローバル・ガバナンスを変革する	<p>「民主的オーナーシップ、透明性、説明責任といった価値や原則を持つ協同組合は、開発プロセスや制度をより効果的で参加型のものにするための重要なパートナーとなり得る。」</p> <p>(協同組合振興促進委員会 (COPAC)「我々の世界を変革する：協同組合の 2030—SDG17 への協同組合の貢献」2020 年 6 月 25 日<sup>4)</sup>)</p>
---------------------	--

## (2)協同組合の役割についての言及を

ILO 企業局協同組合・社会的連帯経済ユニット長シメル・エシム氏は、先月ヨルダンで開催された国際協同組合同盟 (ICA) アジア・太平洋地区協同組合閣僚会議において、次の通り発言しています。

<p>ディーセント・ワークと持続可能な開発の推進における協同組合の変革的役割について、この集會でお話しできることを光榮に思う。本日、私たちはこの重要な會議に集い、SDGs の達成に向けて協同組合の変革的な力を活用するというコミットメントにおいて團結している。(中略)</p> <p>SDGs の中間レビューでは、懸念すべき現実が明らかになった。目標の半分近くが遅れ、3 分の 1 以上が後退している。(中略)</p> <p>この極めて重要な時期に、協同組合はますます不可欠な存在となっている。ILO は、人々を中心とし、価値に基づく企業形態を持つ協同組合が、こうした課題に取り組むための独自の能力を備えていると確信している。(後略)</p>
--

また、わが国政府も SDGs 実施指針 (改定版) の「各ステークホルダーに期待される役割」なかで、協同組合への期待を表明されています。

私たちは、国連未来サミットで採択予定の「未来のための協定」において、各ステークホルダーの役割を明示すること、そして、上記のような各分野で協同組合の貢献が認識され、言及されることを希望しており、わが国政府からの働きかけを期待するものです。

IYC2025 全国実行委員会 (仮称) から円卓會議構成員の皆さまへも順次情報を発信させていただきたく、なにとぞよろしくお願ひいたします。シンポジウムなどご関心のある方はぜひご参加をよろしくお願ひいたします。

以 上

<sup>4</sup> <https://www.ilo.org/publications/transforming-our-world-cooperative-2030-cooperative-contributions-sdg-17>